

9月定例所長会見における発電所長挨拶内容

福島第一原子力発電所の事故から6年6ヶ月が経過いたしました。今なお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

まず始めに、原子力規制委員会への対応状況についてです。

先月、原子力規制委員会の場において、社長の小早川が原子力の安全性向上に対する姿勢や福島復興、福島第一原子力発電所の廃炉、賠償に主体的に取り組むことについて、決意を表明しました。

この中で、原子力の安全確保については、社長がトップとして先頭に立ち、現場の声をしっかり受け止め、原子力安全の向上のための改革を進めることを述べております。

私自身も、これまでお伝えしてきた通り、現場の代表として、強いリーダーシップを持って発電所運営に取り組むとともに、現場の考えを当社経営陣へしっかりと伝えて意思疎通を図り、当社経営陣と現場とを繋ぐという役割を果たしてまいります。そして、経営と一体となって、当発電所の更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります所存です。

次に、刈羽村消防団秋季消防演習への参加についてです。

今月24日、刈羽村において、刈羽村消防団秋季消防演習が開催されます。刈羽村主催の演習となりますが、今回は、当発電所の自衛消防隊が初めて参加させていただくことになりました。

これは、刈羽村からお声掛けをいただき実現したもので、当所からは消防車2台、隊員5名を含む当社社員10名程度で参加し、刈羽村消防団の支援を行う想定で演習を行います。

今回参加する隊員の中には、今月1日、柏崎市消防本部にて行われた自衛消防隊消防研究会における「消火栓による消防訓練」の競技で優勝したチームのメンバーも含まれております。

今後も、日々の訓練に励みながら、緊急時の対応力向上を目指してまいります。

最後に、サービスホールのイベントと映画鑑賞会の開催についてです。

今週末、16日から18日までの連休中に、当発電所サービスホールにてイベントを開催いたします。

サービスホールでは、地域の皆さまに気軽にご来館して楽しんでいただきながら、私どもの発電所の取り組みや原子力発電について知っていただくきっかけとなるよう、定期的にイベントを開催しております。

今回のイベントでは、ふれあいミニ動物園や発電所見学ツアー等、様々な催しを用意して、多くの方の来場をお待ちしております。

また、来月28日土曜日、29日日曜日の二日間で、柏崎エネルギーホールにおいて映画鑑賞会を開催いたします。

この映画鑑賞会は、当所施設を活用して、地域の皆さまに大きなスクリーンで商業映画を楽しんでいただくもので、今回は、延べ900名様をご招待いたします。

これらのようなイベントを通じて、私どもの発電所に親しみを感じていただくとともに、より多くの方々に、発電所の安全性向上に向けた取り組みについて、ご理解いただけるよう努めてまいりたいと考えております。

本日、私からは以上です。

以上